

令和 8 年度 通信教育実施計画

教科		科目	単位数	履修上の留意点	
国語		言語文化(後期)	2	なし	
指導目標	・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解する。 ・我が国の言語文化の特徴や我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。 ・古典を読むために必要な文語や訓読のきまり、古典特有の表現などを身につける。 ・我が国の文化的背景について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。				
教科書		副教材等		添削指導	面接指導
新編 言語文化（東京書籍）		ビジュアルカラー 国語便覧 改訂版（大修館書店）		6 回	最低 2 時間
メディア視聴減免実施の有無		☐ 実施している		☒ 実施していない	
メディア減免 視聴メディア及び視聴日程			メディア減免報告課題提出締切		
なし			なし		
レポート（学習報告書）					
回	学習内容				提出期限
1	詩歌：「柳あをめる/冬が来た」短歌				佐・月 10/21 唐 10/ 28
2	古文入門：古文学修のしるべ「稚児のそら寝」『宇治拾遺物語』				佐・月 11/25 唐 12/2
3	漢文入門：訓読の基本・格言				佐・月 11/25 唐 12/2
4	小説：「デューク」（江國香織）				佐・月 12/16 唐 12/23
5	物語：「亀山殿の御池に」「今日はそのことをなさんと思へど」『徒然草』				佐・月 1/ 6 唐 1/27
6	小説：「羅生門」（芥川龍之介）				佐・月 1/ 6 唐 1/27

スクーリング（面接指導）		
月	学習内容	実施日
4	・ 文章に親しみ、その特徴・表現技法や読み方について学習する。 ・ 作品を通して、自分の見方・感じ方・考え方を深める。	佐賀10/4 唐津10/11 月曜 10/5
5	・ 歴史的仮名遣いなど、基礎の古典文法や漢文の読み方について学習する。 ・ 作品を通して、古典・漢文に対する知識を深める。	佐賀 11/8 唐津 11/15 月曜 11/9
6	・ 文章に親しみ、その特徴・表現技法や読み方について学習する。 ・ 作品を通して、職業に対する自分の見方・感じ方・考え方を深める。 ・ 慣用句などを学習し、言葉を適切に用いようとする姿勢を養う。	佐賀11/29 唐津12/6 月曜11/30
7	・ 文章に親しみ、その特徴・表現技法や読み方について学習する。 ・ 作品を通して、戦争や自立に対する自分の見方・感じ方・考え方を深める。	佐賀12/ 20 唐津 1/10 月曜12/ 21
試験		
前・後期	試験範囲	実施日
前期	レポート第1回～第6回	佐賀 1/24 唐津 1/31 月曜 1/25
学習の成果に係る評価及び単位の修得の認定に当たっての基準		
・ 評価は下記の3つの観点ごとに3段階評価（A・B・C）を行う		
・ 知識・技能：テスト、思考・判断・表現：テスト、主体的に学習に取り組む態度：レポート評価		
その他		